

7

2026
No. 664

ななお

商工会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry

<https://nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



七尾商工会議所

検索



七尾商工会議所

検索



第154回通常議員総会

● CONTENTS ●

- P2 第154回通常議員総会/
部会長委員長合同会議/
日商北信越ブロック商工会議所懇談会
- P3 商業部会/観光・料飲業部会/
サービス業部会/総務委員会

P4～5 建設業部会アンケート

P6 創業のいろは/お店のためのSNS活用セミナー/
七尾特産品協会 総会&看護協会物販

P7 青年部だより/女性会だより/行事カレンダー

P8 第36回モントレージャズフェスティバルイン能登



第154回 通常議員総会を開催

6月30日(火)、料亭「番伊」にて第154回通常議員総会が開催されました。当日は役員議員等50名が出席し、令和7年度事業報告並びに収支決算などについて審議を行いました。

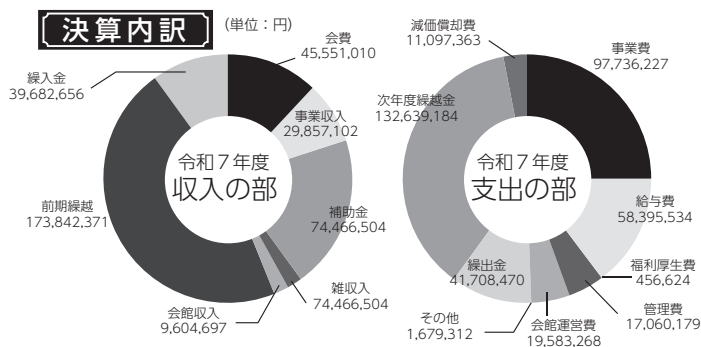
冒頭、杉野哲也会頭は挨拶で、3商工会議所が合同で実施した資材・燃料価格高騰の実態調査結果に触れ、「復旧を加速させるためにも商工会議所が果たすべき役割は非常に大きい。国や県への支援の働きかけや、個々

の企業に寄り添った伴走型支援を一層強化していく」と復興に向けた決意を述べました。

議事では、令和7年度の事業報告および収支決算について審議され、原案通り承認可決されました。震災からの復興支援を最重要課題と位置付け、延べ1万2019件の経営相談や706件の補助金申請サポート、創業・事業承継支援などに注力したほか、オール能登体制を見据えた能登経済復興広域連携協議会の設立に参画した実績が報告されました。

北原副会頭は閉会挨拶で「我々の仕事をきっちりやるのが、能登全体の復興に繋がっていくと確信している」と述べました。

総会終了後には、石川県中能登総合事務所の萩原幸治総務企画部長を迎え、「のと里山空港の利用促進について」と題した説明会が開催されました。萩原氏は同空港の利用状況や、7月7日に「のと里山空港 ポケモンウィズユース空港」としてリニューアルオープンすることを説明し、各種助成制度の活用を交えながら、地元利用の拡大を呼び掛けました。



令和8年度部会長・委員長合同会議

6月10日(水)、当所にて令和8年度部会長・委員長合同会議を開催しました。会議には正副会頭、各部会長、委員長らが出席し、令和7年度の事業報告と令和8年度の取り組みや課題について報告が行われました。

杉野会頭は冒頭、インフレ環境や震災後に個別企業が抱える多重債務問題に対し、丁寧な支援体制を整える方針を示しました。その後の意見交換では、各部会・委員会からBCPセミナーの継続や被災地への視察研修、若者と地域企業が共創するプロジェクト、外部からの人

材獲得や高校生らの住まい確保などが提案されました。

また、能登経済復興広域連携協議会を通じたオール能登での連携や、時代に即した部会編成の見直しについても活発な意見が交わされました。



日商と北信越ブロック商工会議所懇談会

6月18日(木)、金沢市内にて開催された日本商工会議所と石川・富山・長野・新潟4県商工会議所との懇談会に参加しました。会場には、日本商工会議所及び4県商工会議所の会頭をはじめ約200名が出席し、意見交換が行われました。

小林日本商工会議所会頭は、能登半島地震に言及し、発災から約2年半が経過し、復旧・復興に尽力する被災地へのお見舞いを表明。経済情勢では、中東情勢や円安、原油・原材料高の継続が不透明であり、石油製品(特にナフサ由来)の供給において、多層的な流通構造の末端(特に小規模の建設業者等)で「目詰まり」が発生し物が入手できない状況があるため、流通網における適正な供給への配慮を要請しました。

会議では、杉野七尾商工会議所会頭は能登の復興は、熊本地震と比べ、地理的制約、人的資源不足、歴史的な円安・資材高が重なり、より困難な状況にあると次の内容を要請しました。

1. 資金繰り支援の拡充：なりわい再建支援補助金の精算払いによる自己負担増を防ぐため、交付決定時の「概算払い」の導入やつなぎ融資の実質無利子化。
2. 建設資材高騰への特例措置：なりわい再建支援補助金の補助率を75%から90%へ特例的に引き上げること。
3. 事業再建タスクフォースの創設：支援にあたる商工会議所のマンパワー不足解消のため、専門家を配置した支援体制の強化。

各県代表は、人口減少や物価高騰といった構造的課題に触れつつ、「稼ぐ力」の強化や次世代への事業承継に向けた熱意を共有しました。

日商側もこれらの意見を政府への政策提言に反映させる姿勢を示し、広域的な連携による地域活性化の実現を支援していくと発言し閉会しました。



10月、部会員交流会を計画！～ 第1回役員会開催 ～

6月25日(木)、当所にて商業部会第1回役員会を開催しました。久保晋部会長より「部会員同士のつながりを深め、地域商業の活性化につながる活動を進めていきたい」とあいさつがあり、令和8年度の事業計画などについて協議しました。

今年度は、部会活動の活性化と会員同士の交流促進を目的に、10月頃を目途として全部会員を対象とした交流会を開催する方向で検討を進めることを確認しました。交流会では、AIの活用やSNSを活用した集客・販路開拓など、中小事業者の関心が高いテーマのセミナーを併催する予定です。

また、七尾駅周辺や市内商店街の現状と課題について意見交換を行い、来年度は先進地視察を実施し、商店街の将来構想や活性化策について調査・研究を進める方針を確認しました。なお、役員の出席率向上を図るため、次回以降の役員会は夕方の時間帯での開催を検討していくこととしました。



全国商工会議所観光振興大会 in 北海道

6月2日(火)～3日(水)、札幌市で開催された「全国商工会議所観光振興大会2026 in 北海道」に参加しました。本大会は、旭川・釧路・札幌・登別の道内4地域による分散開催という新たな形で実施され、全国の商工会議所関係者が一堂に会し、これからの観光振興について学びました。

札幌会場では、「都市ならではのコンテンツによる高付加価値化」をテーマに、観光を地域資源や産業をつなぐ総合産業として発展させるための取り組みが紹介されました。講演では、アドベンチャーツーリズムの推進や地域資源の再発見・再定義の重要性が語られ、特別な観光資源を新たに作るのではなく、地域の日常や文化そのものを価値として発信する考え方が示されました。

また、「スイーツ王国札幌」の継続的な取り組みや、ワインツーリズムによる地域循環の仕組みづくり、観光DXを活用した情報発信など、各地の先進事例について学ぶことができました。さらに、全国観光振興アワード

大賞を受賞した福井県大野商工会議所の「大野微住」では、地域の暮らしや魅力を活かした高付加価値型の滞在プログラムが紹介され、大変参考になりました。

今回の大会を通じて、地域資源を活かした観光づくりと、商工会議所が中心となったネットワーク構築の重要性を改めて認識しました。今後は、本大会で得た知見を活かし、七尾地域の観光振興や地域活性化につながる事業に取り組んでまいります。



第2回 役員会開催報告

6月1日(月)、当所にてサービス業部会の役員会を開催し、7月11日から12日に実施する「神戸視察」の行程詳細について協議いたしました。

1日目は新長田商店街を視察し、復興の歩みを学びます。2日目は「人と防災未来センター」を見学し、防災についての理解を深める行程で決定いたしました。また、今回の視察では「今行ける能登 団体旅行応援キャンペーン」を活用し、より充実した研修となるよう調整を進めております。

さらに、今回の視察で得た学びを広く共有するため、10月22日(木) 18時30分より「神戸視察 報告会および交流会」を開催いたします。報告会に続き、19時より交流会を予定しております。

本報告会はサービス業部会以外の皆様もご参加いただけます。詳細は会議所だより9月号にチラシを折り込む予定です。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。



第1回総務委員会を開催！

6月8日(月)、当所において第1回総務委員会を開催しました。

委員会では、令和8年新年互礼会の振り返りを行い、収支決算の報告や今後の開催方法について意見交換を行いました。近年の参加者減少を踏まえ、従来の名刺交換を中心とした形式を見直し、より多くの会員が参加しやすい内容への改善を進めていくことを確認しました。

また、令和8年度の活動について協議し、視察研修では、「全国商工会議所さきり輝き観光振興大賞」の受賞事例などを参考に、地域資源を活用した観光振興や地域活性化の取り組みを学び、今後の会議所事業の充実や地域振興に活かすことを目的として、10～11月頃に1泊2日で実施する方向で検討を進めることとしました。

さらに、令和9年新年互礼会については、会員事業所の特色を活かしながら、キッチンカーや伝統芸能などを取り入れた、会員同士の交流が深まる魅力的な企画づくりについて意見が交わされました。

そのほか、会員サービス向上を目的とした広報部設立案についても協議し、会員事業所の情報発信支援による会員メリットの向上について検討を行いました。

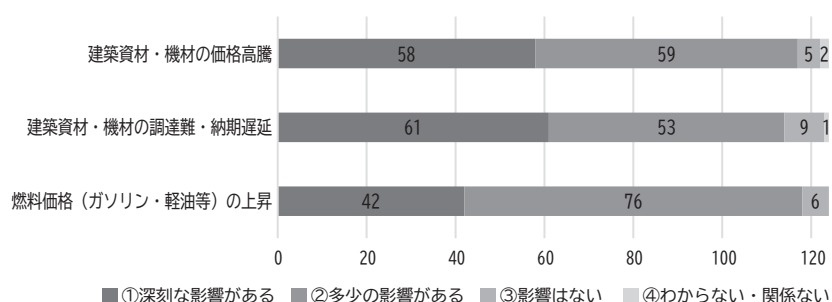


建設業等における資材・燃料価格高騰等に関する実態調査(2026年6月)

調査概要 調査時期: 令和8年6月8日～6月22日
 回答事業者数: 七尾商工会議所管内 93者
 輪島商工会議所管内 19者
 珠洲商工会議所管内 12者 合計 124者

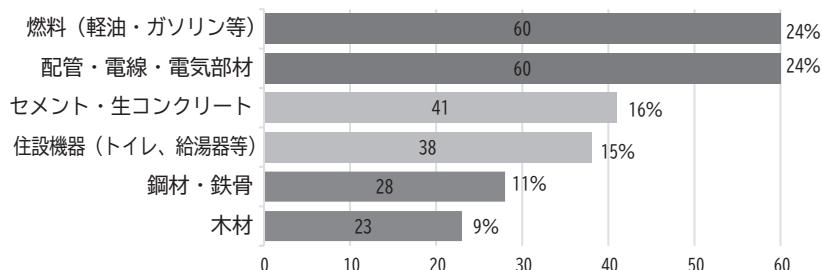


Q1 「中東情勢の悪化等」に伴う、資材・燃料価格の高騰や調達への影響について、貴社の実態に最も近いものをそれぞれお選びください。



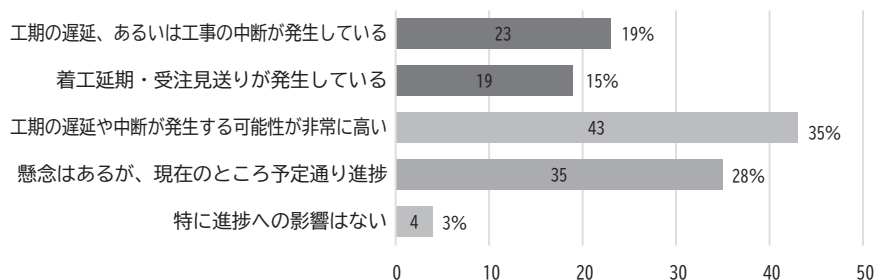
- ・資材・機材の「調達難・納期遅延」に対して**9割超の事業者が影響**を訴えており、うち**約半数が「深刻」と回答**しています。
- ・「**資材価格の高騰(94.4%)**」と「**燃料価格の上昇(95.2%)**」という二大コスト上昇が、**ほぼすべての事業者に波及**しています。

Q2 Q1で「深刻」または「多少」と答えた方にお聞きます。特に価格高騰・納期遅延が著しい品目は何ですか。



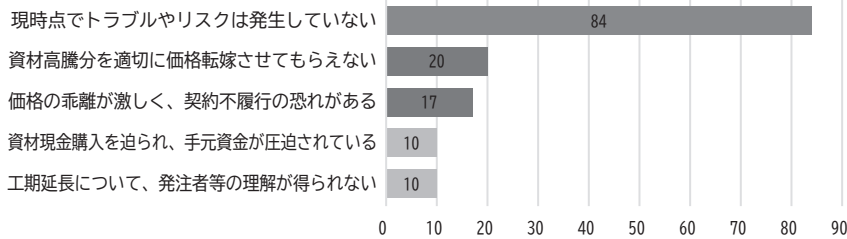
- ・『**配管・電気部材**』と『**燃料**』が最多の**約50%**を占め、**セメントや住設機器など復興に不可欠な資材を中心に高騰・遅延が深刻化**しています。

Q3 コスト高騰や資材調達難は、「復旧・復興工事」の進捗にどのように影響していますか。コスト高騰や資材調達難は、「復旧・復興工事」の進捗にどのように影響していますか。



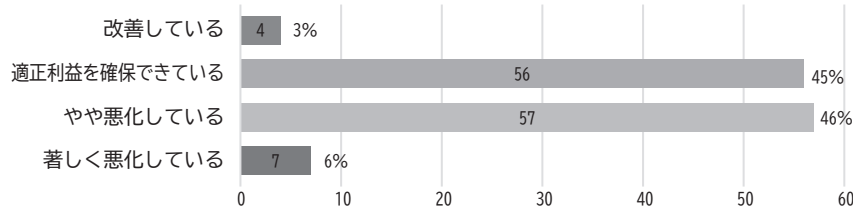
- ・コスト高騰や資材調達難により、**全体の34%の現場で既に工事の遅延や着工延期**などの具体的な支障が生じています。
- ・また、今後の潜在的なリスクも含めると**全体の約70%に悪影響が及ぶ可能性**があり、能登の**復興工事に大きな影響**が生じている実態が明らかとなりました。

Q4 価格高騰や納期遅延に伴い、発注者や元請・下請間で「契約上のトラブル」や「リスク」は発生していますか。



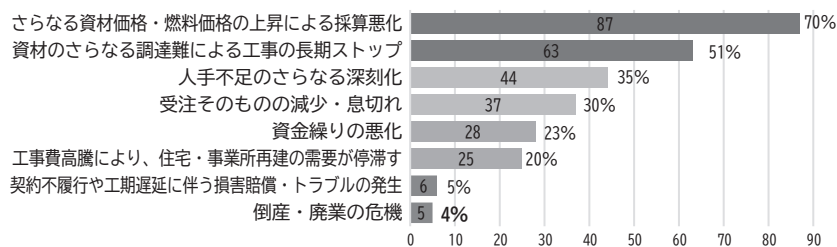
・過半数が「リスクはない」と回答している一方で、**資材価格の高騰による資金繰りへの影響や契約上の懸念を抱える事業者も見られます。**

Q5 現在、復旧・復興工事の採算（利益率）」はどうなっていますか。



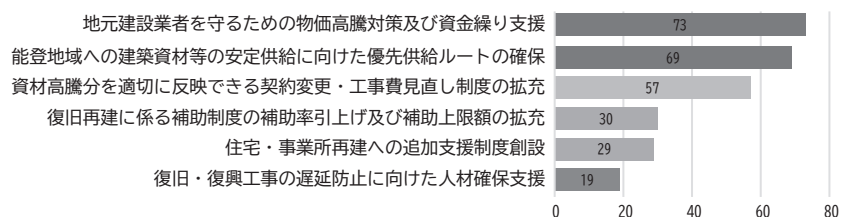
・利益確保の状況は「**悪化している**」が**52%**、「**適正利益を確保できている**」が**48%**とほぼ二分する結果となりました。

Q6 今後半年以内において、貴社の経営上「特に懸念される事項」は何ですか。



・最も多かった懸念は「**さらなる資材価格・燃料価格の上昇による採算悪化**」で、全体の**70%**の事業所が選択。
・「**資材のさらなる調達難による工事の長期ストップ**」が**51%**、物価高騰と供給網の不安定さが経営の大きな圧迫要因となっています。

Q7 中東情勢の悪化等に伴う資材・燃料価格の高騰や供給不安により、再び厳しい局面を迎えている能登復興工事を乗り切るため、国等の行政に対し、特に必要と考える支援策は何ですか。



・地元建設業者を支援するための**物価高騰対策や資金繰り支援を求める声が多く**、事業継続に向けた経営基盤の維持が**喫緊の課題**となっています。
・能登地域への**資材の優先供給ルートの確保を求める声も多く**、復旧・復興工事を進めるため、資金・資材両面での**迅速な支援**が求められています。

Q8 中東情勢に限らず、建築資材の高騰・調達難、工期遅延、契約を巡るトラブルなど、現場での具体的な困りごとや、国・行政に対する切実なご意見をご自由にお書きください。(要約)

- ・コンクリートや瓦などの資材価格が1.2～1.5倍程度上昇しています。しかし、急激な価格上昇分を十分に価格転嫁できず、利益の減少や賃上げの見送りを余儀なくされています。
- ・生コンや燃料のほか、エアコンや照明器具などの設備機器の入荷が遅れており、完了検査や物件の引き渡しに支障が生じています。その結果、工事の遅延や工程変更を余儀なくされています。
- ・引き渡しの遅延により最終金や売掛金の回収が遅れる一方、人件費などの支払いは先行して発生しています。資金繰りは厳しさを増しており、銀行融資でしのがざるを得ない状況も生じています。
- ・他地域からの協力業者を確保するためには、宿泊費や割高な人件費の負担が伴います。また、技能水準を事前に把握しにくいこともあり、必要な応援要請が容易に行えない状況に直面しています。
- ・応急対応に追われる中で新築工事に着手できず、顧客流出による売上減少にも苦しんでいます。奥能登への資材の優先供給ルートの確保や宿泊費支援、中長期的な視点に立った復興支援が強く求められており、製造業においても物価高騰が事業継続を左右する深刻な課題となっています。



松本悠司 氏

6月18日(木)、当所にて、創業希望者などを対象としたセミナー「創業のいろは」が開催されました。本セミナーは、8月開講の「七尾創業アカデミー」のイベントとして企画され、多くの参加者が熱心に耳を傾けました。

第1部では、「知っておきたい、起業の基礎知識!」と題しまして、中小企業診断士の松本悠司氏が登壇し、顧客視点のマーケティングの重要性を解説しました。また、収支計画においては、売上からではなく生活費から逆算し、家族を守るための利益を確保することの大切さを強調しました。さらに、起業前後を切れ目なく支援する「ななお創業応援カルテット」の強力な体制を紹介しました。

第2部では、「七尾で夢をカタチにした先輩たちに聞いてみよう!」と題して、先輩起業家の春成志子氏と清水将太氏が登壇しました。アカデミー参加の利点として、両氏は経営知識の習得、事業計画の具体化、起業仲間との出会いを挙げました。開業時は全てを1人でこなす苦労がありましたが、春成氏は「親子の片付け」への特化、清水氏は「1組貸切」での安全管理と柔軟な対応というこだわりで差別化を図りました。



春成志子 氏と松本悠司 氏



清水将太 氏



今後は、無償の出前授業を通じた地域での教育支援(春成氏)や、新アクティビティによる観光客の滞在時間延長(清水氏)で、地域への貢献を目指しています。また、顧客の行動の変化や直接喜ぶ姿を見ることが最大のやりがいだと語られました。

手厚い創業支援体制や起業仲間の存在を知り、先輩起業家の生の声に触れることで、参加者が自身の夢を具体的に描き、起業への次の一歩を力強く踏み出すきっかけとなる非常に有意義なセミナーとなりました。

お店のためのSNS活用セミナー

6月16日(火)、「お店のためのSNS活用セミナー」を開催しました。

講師には、石川県よろず支援拠点コーディネーターの守部和孝氏をお迎えし、SNSのアカウント管理や効果的な運用方法について学びました。

セミナーでは、実際に飲食店や美容室を検索する際に利用者が特に注目するポイントや、近年の若者が飲食店や美容室を探す際の検索行動について、実践を交えながら学びました。

事業者側の視点では、顧客が検索した際に最初に目にする写真や評価、口コミ数などが重要であること、またGoogle検索だけでなく、InstagramをはじめとしたSNSや各種アプリを組み合わせた情報発信が求められていることを学びました。

さらに、業種や店舗の立地によって競争環境が異なることや、「①知らない ②調べる ③比較する」というSNS検索時の利用者行動を踏まえ、人の動きを予測した情報発信の重要性について理解を深めました。

また、年代や性別によって興味や着眼点が変わることを踏まえ、ターゲットに合わせた運営を行うことの重要性についても学ぶ機会となりました。



七尾特産品協会 総会 & 石川県看護協会物販

6月12日(金)、七尾特産品協会は令和8年度定期総会を開催しました。冒頭、笹本会長が震災復興を活動の柱とする方針を示し、来賓の星野七尾市副市長は創造的復興に向けた連携を呼びかけました。議事では、合同会社ノラスの新規加入を含む全6議案が原案通り承認されました。このほか、新商品開発に対する補助制度の復活検討や、今後の出店計画について意見が交わされました。



翌13日には、金沢市の石川県地場産業振興センターで開催された「令和8年度石川県看護協会通常総会」の能登応援特産品販売コーナーへ出店しました。本イベントは、例年約300~400名が参加する看護職会員へ向けた能登の物産PRと復興支援を目的としたもので「できることから できるかたちで」を掲げ、能登の食や工芸品の魅力を伝えました。



青年部 だより

七尾商工会議所青年部6月定例会を開催

6月20日(土)、七尾商工会議所青年部(会長:五十嵐 亮)は、6月定例会を開催しました。

定例会冒頭、五十嵐会長は、「今回は、石川県商工会議所青年部連合会主催のスポーツ大会に参加し、石川県内の青年部メンバーと交流を深める目的としております。他の青年部メンバーとチームを組んで行う競技であり、お互い親睦を深めてください」と挨拶しました。

その後、石川県商工会議所青年部連合会の交流広報委員会の川石幸司委員長(七尾YEG)よりゲームの説明等があり、ゲームを開始しました。

ナーフ(ソフト銃)を使用して相手の陣地の目的物を

落とすゲームで、参加者は童心に帰って楽しみました。

当YEGからは、17名が参加し、競技終了後は、会場を「ほっとらんど七尾」に移し、表彰式、懇親会を開催し、さらに県内青年部メンバーと交流を深めました。



女性会 だより

女性会deワークショップ 「畳材を使用したミニほうき作り」を開催

6月19日(金)、七尾商工会議所女性会では、第2回女性会 de ワークショップ「畳材を使用したミニほうき作り」を開催しました。講師には、nanoka 兼浜中たたみ店オーナーの 浜中成美 氏をお迎えし、ご指導いただきました。

当日は、浜中氏が用意したキットを使用し、畳材を一本一本丁寧に編み込みながら、オリジナルのミニほうきを制作しました。参加者は慣れない作業に苦戦する様子も見られましたが、次第にコツをつかみ、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めながら作業を楽しみました。

また、浜中氏からは畳についてのお話もあり、畳の製作過程で生じる端材や余剰部分の処分が課題となっていること、その一方で、今回のように端材を活用してほうきを作ることで廃

棄物の削減につながり、環境にやさしい取り組みとなることが紹介されました。

参加者からは「楽しく作ることができた」「畳の新たな活用方法を知ることができた」といった声が聞かれ、ものづくりの楽しさと環境への配慮について学ぶ有意義なワークショップとなりました。



アンケート調査のご協力をお願い

～ 最近の景況・業況の動向(調査対象期間:令和8年4月～6月)～

当所では、管内の景況動向や経営状況を把握するため、会員の皆様にご協力をいただき、標記調査を実施いたします。

ご多忙のところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

右のURLまたはQRコードより、**令和8年7月31日(金)まで**にご回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。

URL: <https://nanao-cci.or.jp/keikyo-e/>



七尾地域の企業の業況と今後の見通しや問題点を把握するために景況調査を行っております。ぜひ皆様の声をお聞かせください。

行事カレンダー 2026

7月

July

- 16㊦ カルテット会議
- 17㊦ 青年部理事会
- 18㊦ 七尾港まつり 総踊り
- 19㊦
- 20㊦
- 21㊦
- 22㊦
- 23㊦ 中東情勢・原油価格上昇等対応特別相談会
富山商工会議所女性会との交流会
- 24㊦
- 25㊦ モントレージャズフェスティバルイン能登2026
- 26㊦
- 27㊦
- 28㊦
- 29㊦
- 30㊦
- 31㊦

8月

August

- 1㊦
- 2㊦
- 3㊦
- 4㊦
- 5㊦
- 6㊦ INPIT石川県知財総合支援窓口
女性会事務局会議
- 7㊦
- 8㊦
- 9㊦
- 10㊦ 正副会頭会議
- 11㊦
- 12㊦
- 13㊦
- 14㊦
- 15㊦



寺井 尚子 カルテット



寺井 尚子(Vln.)
北島 直樹(P)
仲石 裕介(B)
荒山 諒(Ds)

(c)Katsunari

36th ANNUAL
Monterey Jazz Festival
in NOTO

上田正樹 R&B BAND



上田正樹 (vo/gt)
堺 敦生 (kyb/p/cho)
Yoshie.N (vo/cho)
樋沢達彦 (B)
Marvin Lenoar (ds)

OBATALA SEGUNDO

オバタラ・セグンド



中路英明(tb)
鈴木よしひさ(g)
畠山啓(p)
コモブチキイチロウ(b)
大儀見元(perc.vo)
岡本健太(ds)

竹内武カルテット feat うわのそら with 中野渡章子



竹内武(dr)
藤井空(pf.tp)
上野悠(sax.cl.fl)
新井健太郎(ba)
中野渡章子(vo)

CHIKO



CHIKO(Vo)
ヤマダベン(per)

前田明日香 司会



武田真治



武田真治 (Sax)

※出演者は、諸事情により変更になる場合がございます。

第36回 モントレージャズフェスティバルイン能登

2026年 7月25日(土)

開場15:00 開演16:00 終演時間 21時(予定) 会場 / 能登歴史公園(のと里山里海ミュージアム横)

■主催・お問い合わせ ■モントレージャズフェスティバルイン能登 開催理事会・実行委員会

TEL.0767-58-6461 FAX.0767-58-6462

Mail・info@mjinnoto.jp URL・https://mjinnoto.jp/

■入場料■

前売券

大人 / 7,000円

当日券

大人 / 8,500円

大学生・高校生 / 2,000円

※学生証などの提示が必要です

※中学生以下は保護者同伴で入場可

